

平成29年度 社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	162	130	230	336	288	353	839	1142	1184	367

平成29年度の退院患者数（集計対象患者数）は5,031人であり、特に60歳以上の患者さんが多く全体の70%となっております。また70歳以上の患者さんは全体の53%を占めており、2人に1人は70歳以上の患者さんです。年齢階級別の割合は前年度と比較すると20歳から60歳までは減少し、60歳以上のすべての年齢区分では増加傾向となっております。当院の所在する中讃医療圏では回復期病床数が少ないこともあり、院内のみならず院外からも急性期治療後の場として地域包括ケア病棟を利用していただき、多職種連携により在宅に復帰するための支援を行っております。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	44	32.68	20.83	9.09	86.16	
100070XX99X100	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）手術なし 処置2__1あり 定義副傷病なし 85歳未満	31	22.29	14.27	0.00	58.35	パス
100380XXXXXXXXXX	体液量減少症	27	12.00	9.16	7.41	75.07	
110310XX99X00X	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	25	19.52	12.34	0.00	77.08	
161020XXXXX00X	体温異常 処置2なし 定義副傷病なし	21	3.48	5.73	0.00	61.62	

当科は総合内科、血液内科、糖尿病センター、神経内科の4科から構成しています。誤嚥性肺炎、糖尿病、脱水症、尿路感染症、市中肺炎の患者数が多く平均年齢も75歳以上の方が多くなっています。糖尿病治療においては日本糖尿病学会指導医が在籍し、一般病棟だけでなく地域包括ケア病棟においても入院治療を行っており平成29年度の件数は67件となっております。市中肺炎については疾患分類が多様であり上位疾患にはないですが患者数は多くなっています。

■ 消化器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	54	34.94	20.83	25.93	87.96	
060340XX03X00X	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 処置2なし 定義副傷病なし	41	17.34	10.61	2.44	79.29	

100380XXXXXXXXX	体液量減少症	21	14.62	9.16	0.00	70.10	
060102XX99XXXX	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	16	11.94	7.87	0.00	52.25	
150010XXXXX0XX	ウイルス性腸炎 処置2なし	15	9.67	5.50	6.67	57.67	

当科は誤嚥性肺炎、市中肺炎の呼吸器疾患について呼吸器内科医師と協力して診療しているため患者数が多くなっています。総胆管結石、胆管炎、胆のう炎、大腸憩室炎、腸炎、脱水症の患者数も上位を占めています。また胆管結石、胆管炎、胃瘻等の治療は患者さんの負担が少ないよう内視鏡下で行っています。集計対象外ですが、内視鏡を用いた大腸ポリープの治療も数多く行っています。

■ 循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050050XX99100X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 手術なし 処置等1__1あり 処置2なし 定義副傷病なし	112	2.15	3.03	2.68	69.95	パス
050130XX99000X	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし 定義副傷病なし	38	18.11	17.71	15.79	80.66	
050050XX02000X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 処置等1__なし, 1, 2あり 処置2なし 定義副傷病なし	35	4.00	4.62	0.00	67.34	パス
050050XX99130X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 手術なし 処置等1__1あり 処置2__3あり 定義副傷病なし	21	3.48	5.91	0.00	70.95	
050050XX99200X	狭心症, 慢性虚血性心疾患 手術なし 処置等1__2あり 処置2なし 定義副傷病なし	20	2.00	3.19	0.00	72.60	

当科は日本人の死因第2位は循環器疾患であり、中でも生活習慣病から進展することの多い狭心症の患者数が多く前年度と比較して増加しています。その治療は心臓カテーテルを用いて行えるため平均在院日数は全国より短くなっています。心不全については薬剤治療、リハビリ等を行っています。また徐脈性不整脈ではペースメーカー移植術を行い、ペースメーカー管理も行っています。

■ 小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
140010X199X00X	妊娠期間短縮, 低出産体重に関連する障害 (出生時体重2500g以上) 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	31	5.77	6.18	19.35	0.00	
140010X299X0XX	妊娠期間短縮, 低出産体重に関連する障害 (出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 処置2なし	16	11.06	11.49	6.25	0.00	
040090XXXXXX0X	急性気管支炎, 急性細気管支炎, 下気道感染症(その他) 定義副傷病なし	-	-	5.94	-	-	
130110X1XXX4XX	出血性疾患(その他)(16歳未満) 処置2__4あり	-	-	7.66	-	-	
070520XX99XXXX	リンパ節, リンパ管の疾患 手術なし	-	-	8.42	-	-	

当科は気管支炎、腸炎の患者数が上位を占めています。また出生後の低体重に関連する障害である低出生体重児、早産児、新生児呼吸障害などは産科と協力して診療しています。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

■ 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
--------	-------	-----	--------------------	--------------------	-----	------	---------------

060330XX02XXXX	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	11	6.45	6.64	0.00	62.27	パス
060150XX03XXXX	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	-	-	5.56	-	-	
060335XX02000X	胆嚢水腫，胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 処置1なし 処置2なし 定義副傷病なし	-	-	7.40	-	-	
050180XX97XXXX	静脈・リンパ管疾患 その他の手術あり	-	-	3.20	-	-	
060210XX9700XX	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術あり 処置1なし 処置2なし	-	-	14.71	-	-	

当科は、胆のう結石、胆のう炎、虫垂炎、下肢静脈瘤の患者数が多く、平均在院日数は全国平均と比較してほぼ同じです。近年は患者さんに負担をかけないよう腹腔鏡下の手術にも力を入れ、消化器疾患（胃、大腸、肝臓、胆のう等）や血管（乳腺、甲状腺）など、幅広い疾患に対応しております。集計対象外ですが鼠径ヘルニアの患者数も多くなっています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160620XX01XXXX	肘，膝の外傷（スポーツ障害等を含む） 腱縫合術等	121	10.73	11.41	0.00	38.61	
070230XX01XXXX	膝関節症（変形性を含む） 人工関節再置換術等	112	34.91	25.09	1.79	77.66	
160800XX01XXXX	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術肩，股等	89	35.46	27.09	42.70	82.61	パス
160800XX99XX0X	股関節大腿近位骨折 手術なし 定義副傷病なし	79	33.63	15.22	48.10	82.46	
070230XX02XXXX	膝関節症（変形性を含む） 骨穿孔術等	78	34.35	28.50	0.00	64.99	

当科は一般整形と関節外科（主に膝・股関節）に分けて診療を行っています。大腿骨骨折や変形性膝関節症の平均年齢は75歳以上の患者さんが多いですが、膝の外傷の平均年齢は38歳であり、どちらも県外からの患者さんも多く占めています。大腿骨骨折は地域の病院と連携して一貫した診療体制であるため転院割合が4割以上と高い傾向となっています。また圧迫骨折や椎間板ヘルニア等整形疾患全般について幅広く治療を行っています。

■ 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
100100XX97X0XX	糖尿病足病変 手術あり 処置2なし	-	-	25.98	-	-	
100100XX97X1XX	糖尿病足病変 手術あり 処置2あり	-	-	51.26	-	-	
070010XX010X0X	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く） 四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 処置1なし 定義副傷病なし	-	-	5.80	-	-	
161000X199X0XX	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷（Burn Index 10未満） 手術なし 処置2なし	-	-	12.10	-	-	
070071XX97XXXX	骨髄炎（上肢以外） 手術あり	-	-	36.34	-	-	

当科は糖尿病皮膚病変疾患、皮膚腫瘍、熱傷、骨髄炎、褥瘡潰瘍等の患者さんの治療を行っています。急性期治療後は地域包括ケア病棟を利用し退院を目指す方が多いため平均在院日数は全国平均と比較して長い傾向にあります。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
010060X2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 処置等1なし 処置等2：4あり 副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	62	22.24	16.38	22.58	73.90	パス
160100XX99X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	38	17.45	7.34	15.79	67.87	
010040X099X00X	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満）手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	35	40.37	19.10	31.43	65.31	
160100XX97X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 処置2なし 定義副傷病なし	27	18.04	9.68	7.41	74.81	
010230XX99X00X	てんかん 手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	21	12.71	6.32	9.52	64.67	

当科において最も多い疾患は、脳梗塞、続いて外傷性頭蓋内損傷、非外傷性頭蓋内血腫、てんかんとなっており緊急性の高い疾患が多くなっています。脳梗塞の全体件数は170件以上であり、超急性期脳卒中に対する血栓溶解療法（t-P A治療）の体制も整えています。入院後早期にリハビリ介入することで、日常生活自立を向上させ、入院前の状態に近づけることを目標にしています。脳梗塞、脳出血については地域の病院と連携した診療体制を構築しており転院される方も多くなっています。平均在院日数が長い理由は、急性期治療後も地域包括ケア病棟においてリハビリの継続を希望される方にも対応しているためです。

■呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040040XX97X0XX	肺の悪性腫瘍 手術あり 処置2なし	-	-	12.35	-	-	
040200XX01X00X	気胸 肺切除術等 処置2なし 定義副傷病なし	-	-	10.04	-	-	
040050XX97X3XX	胸壁腫瘍，胸膜腫瘍 その他の手術あり 処置2__3あり	-	-	35.51	-	-	
160400XX02X1XX	胸郭・横隔膜損傷 肋骨骨折観血的手術等 処置2あり	-	-	25.00	-	-	
040200XX99X01X	気胸 手術なし 処置2なし 定義副傷病あり	-	-	19.74	-	-	

日本人の死因第1位はがんであり、その中で肺癌がトップであります。当科は肺癌や気胸の治療を胸腔鏡併用手術で行っています。ご高齢の患者さんでも安心していただける手術を心がけています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
120170XX99X0XX	早産，切迫早産 手術なし 処置2なし	88	23.01	20.41	0.00	28.83	パス
140010X199X00X	妊娠期間短縮，低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上）手術なし 処置2なし 定義副傷病なし	76	3.36	6.18	1.32	0.00	パス
120260XX01XXXX	分娩の異常 子宮破裂手術等	66	9.35	9.67	0.00	31.17	パス
120260XX99XXXX	分娩の異常 手術なし	56	5.14	4.75	0.00	29.36	パス

120150XX01XXXX	妊娠早期の出血 子宮頸管縫縮術	25	11.40	17.85	4.00	33.44	パス
----------------	-----------------	----	-------	-------	------	-------	--------------------

当科は分娩に関連する産科疾患が上位を占めています。集計対象外である自然分娩を含めた分娩件数は年間約500件となっており、坂出市内はもとより高松市、宇多津町、丸亀市などからも受診されております。

■眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
020280XX99XXXX	角膜の障害 手術なし	-	-	15.47	-	-	
020200XX99X4XX	黄斑, 後極変性 手術なし 処置2 ___ 4あり	-	-	2.47	-	-	
020110XX99XXXX	白内障, 水晶体の疾患 手術なし	-	-	2.59	-	-	
160250XXXX0XXX	眼損傷 処置1なし	-	-	4.94	-	-	

当科は集計対象外の白内障患者数が年間400件を超えており最も多く、当院の全診療科の中で最も実績が多いです。また地域のクリニックに当院の手術室を利用いただき白内障手術をしています。さらに角膜の障害、黄斑変性、眼瞼疾患の患者さんの治療も行っています。黄斑変性については多くを外来治療で行っております。集計対象での診断群分類は4分類であり、上位4位までの表示となっております。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

■耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
030240XX99XXXX	扁桃周囲膿瘍, 急性扁桃炎, 急性咽頭 喉頭炎 手術なし	-	-	5.48	-	-	
030390XX99XXXX	顔面神経障害 手術なし	-	-	9.45	-	-	
030440XX02XXXX	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓膜 形成手術	-	-	3.75	-	-	
030350XXXXXXXXXX	慢性副鼻腔炎	-	-	7.23	-	-	
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	-	-	5.15	-	-	

当科は、扁桃炎、顔面神経障害、中耳炎、副鼻腔炎、めまいに代表される前庭機能障害、の患者数が多く、平均在院日数は全国平均と比較してほぼ同じです。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

■泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
110070XX0200XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 処置1なし 処置2なし	15	21.13	7.31	0.00	72.60	パス
110280XX99000X	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎 不全 手術なし 処置1なし 処置2なし 定義 副傷病なし	13	12.54	12.23	15.38	78.54	
110310XX99XX0X	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副 傷病なし	-	-	12.34	-	-	
110200XX02XXXX	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術	-	-	9.73	-	-	
110280XX02X00X	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎						

不全 動脈形成術, 吻合術 その他の動脈等 処置 2 なし 定義副傷病なし	-	-	8.50	-	-
---------------------------------------	---	---	------	---	---

当科は集計対象外ですが尿管結石の患者数が最も多く、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の治療を主に行っています。膀胱癌、膀胱腫瘍、腎盂腎炎、前立腺肥大症等についても幅広く治療を行っています。また集計対象外ですが、前立腺がんの生検検査も数多く行っています。慢性腎不全の治療は院内に透析センターがあり、入院・外来にて透析治療を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 処置 2 なし 定義副傷病なし	31	43.23	20.83	25.81	80.71	
050130XX99000X	心不全 手術なし 処置 1 なし 処置 2 なし 定義副傷病なし	15	27.20	17.71	6.67	88.20	
0400801499X002	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 処置 2 なし 定義副傷病なし A-D ROP スコア 2	15	27.07	15.12	0.00	85.33	
110310XX99XX0X	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病なし	12	45.33	12.34	33.33	84.33	
0400801499X003	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 処置 2 なし 定義副傷病なし A-D ROP スコア 3	12	37.58	16.97	8.33	89.00	

当科は誤嚥性肺炎、市中肺炎、心不全、慢性閉塞性肺疾患が多く、長寿・高齢化に伴った影響があり、平均年齢は80歳を超えており平均在院日数も長い傾向となっています。これは急性期治療後、地域包括ケア病棟に転棟しリハビリ治療等行いながら退院調整を希望される患者さんが多いためです。また集計対象外ですが、睡眠時無呼吸症候群の検査も数多く行っています。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	10	-	-	-	-	-	1	7
大腸癌	-	-	-	12	-	-	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

当院の特徴として平成29年度の5大癌合計は、大腸癌36（37%）、胃癌28（29%）、肺癌21（22%）、乳癌7（7%）、肝癌5（5%）計97です。

患者数としては、大腸癌が最も多くなっており、次いで胃癌、肺癌となっております。患者さんに応じて腹腔鏡手術をはじめとする低侵襲治療から抗がん剤治療、放射線治療まで幅広く医療が提供できる体制を整備しています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症			

	-	-	-
中等症	93	29.76	79.26
重症	64	34.30	85.80
超重症	28	35.96	83.86
不明	-	-	-

市中肺炎とは、病院外で日常生活をしていた人に発症した肺炎をいいます。院内での発症は含みません。重症度分類は、A-DROPスコア（年齢・性別、血液中の酸素濃度、脱水症状の有無、意識障害の有無、収縮期血圧等の身体所見）を用い、軽症から超重症の4つに分類しています。

日本人の死因第5位は肺炎であり、高齢化に伴い多くなる疾患であります。当院では重症度が中等症の患者数が最も多くなっています。重症度が高くなるほど平均年齢が上がり平均在院日数も長くなる傾向となっています。高齢で合併症を併せ持つ肺炎は重症化するケースもあり、適切な抗生剤の使用や酸素療法を行っています。また筋力・体力低下を防ぐために早期よりリハビリを開始しています。急性期治療後は地域包括ケア病棟を利用いただき在宅への退院を目指しております。

脳梗塞の患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
-	177	32.50	78.28	26.55

脳梗塞の患者さんは主に発症後3日以内の患者さんが多くなっています。脳梗塞の診断後、早期治療と早期にリハビリを開始することにより後遺症を最小限にすべく日常生活の自立向上に努めています。転院率は約3割であり、多職種が関わり、地域の病院や施設と連携することにより地域で患者さんをサポートする体制を整えています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■ 消化器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	72	0.07	1.22	1.39	66.4	パス
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	53	2.60	23.23	5.66	80.92	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	21	15.18	31.64	27.27	86.68	
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	10	4.50	10.90	0.00	74.00	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層）	10	1.30	9.40	0.00	70.30	

内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術が最も件数が多くなっています。大腸内視鏡検査において必要と判断した場合はポリープ切除を行います。ご高齢の患者さんも多いため安全確保のために1泊入院して治療を行っています。次いで、胆管結石、胆管炎、閉塞性黄疸などに対して行う内視鏡的胆道ステント留置術や胃瘻造設術、利尿剤投与などの保存的療法でコントロール出来ない難治性腹水に対する治療、早期胃癌に対して内視鏡治療を行っています。

■ 循環器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	40	1.53	3.83	2.50	70.10	パス
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術						パス

		25	0.80	5.00	4.00	73.88	
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	21	1.24	8.57	0.00	77.67	パス
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	14	0.00	19.50	7.14	68.93	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	12	0.17	11.00	0.00	62.83	

虚血性心疾患には狭心症と心筋梗塞があります。どちらも詰まっているもしくは詰まりかけた冠動脈を広げることが必要です。心臓カテーテル検査を実施し、狭い血管の場所を確認し風船で血管を広げた後ステントという薄い金属を留置します。予約入院の場合は3日程度で退院できます。また洞不全症候群、完全房室ブロックに対してペースメーカー移植術を行い、術後ペースメーカー管理をしています。下肢閉塞性動脈硬化症に対して血管拡張術・血栓除去術も行っています。

■ 外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	19	1.32	4.95	0.00	64.16	パス
K6335	鼠径ヘルニア手術	10	1.60	7.50	20.00	67.40	パス
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	-	-	-	-	-	
K7193	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	-	-	-	-	-	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	-	-	-	-	-	

胆嚢疾患に対して胆嚢摘出術（腹腔鏡下）、鼠径ヘルニア手術（腹腔鏡下、開腹）、虫垂炎手術（腹腔鏡下、開腹）、結腸悪性腫瘍手術（腹腔鏡下）が主な手術です。患者さんの状態により腹腔鏡下、開腹手術の選択をしています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（膝）	123	1.76	31.90	4.88	77.45	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	118	2.62	32.75	41.53	82.82	パス
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿）	96	0.86	6.20	0.00	51.24	
K0542	骨切り術（下腿）	89	1.13	31.81	0.00	65.57	
K068-2	関節鏡下半月板切除術	64	0.81	5.83	0.00	50.63	

変形性膝（股）関節症、リウマチ、骨頭壊死に対する人工関節置換術や骨切り術、大腿骨骨折やその他骨折に対する骨接合手術、原疾患手術施行後の抜釘手術、膝の外傷（半月板損傷等）に対する関節鏡下半月板切除術が主な手術です。術後地域包括ケア病棟での日常生活自立の回復目的の手厚いリハビリを行っているため平均術後日数は長くなっています。大腿骨骨折については地域の病院や施設を連携しているため、転院後治療を継続する方が多く転院率は約4割となっています。

■ 形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	-	-	-	-	-	
K013-21	全層植皮術（25cm2未満）	-	-	-	-	-	

K0503	腐骨摘出術（足その他）	-	-	-	-	-	-
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	-	-	-	-	-	-
K0021	デブリードマン（100cm ² 未満）	-	-	-	-	-	-

軟部腫瘍摘出術、原疾患治療後の皮膚欠損に対する植皮術、難治性皮膚潰瘍等、皮膚腫瘍摘出術を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	29	0.97	12.76	6.90	79.97	パス
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	17	4.06	8.76	5.88	79.35	パス
K178-4	経皮的脳血栓回収術	14	0.86	48.93	57.14	82.21	
K1781	脳血管内手術（1箇所）	11	6.00	25.73	27.27	68.18	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	-	-	-	-	-	

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術、経皮的頸動脈ステント留置術、経皮的脳血栓回収術、脳血管内手術、頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）が主な手術です。緊急性の高い手術が多く、24時間対応しています。当院には脳神経血管内治療の指導医が在籍しており脳血管内カテーテル治療を行っています。機能障害を有する症例では術後の療養期間を要することが多く、周術期からリハビリを実施し中長期的な病状回復に努めています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超える）	-	-	-	-	-	
K5131	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））	-	-	-	-	-	
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	-	-	-	-	-	
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	-	-	-	-	-	
K481	肋骨骨折観血的手術	-	-	-	-	-	

肺癌に対して胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術を行っています。また若年層に突発的に生じることが多い自然気胸の根治術として、原因となるのう胞と呼ばれる袋を胸腔鏡下にて切除する手術を行っています。気道閉塞の予防、呼吸不全の呼吸管理のために気管切開術も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	54	3.28	6.78	0.00	32.44	パス
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）	29	2.72	6.83	0.00	29.52	パス
K9061	子宮頸管縫縮術（マクドナルド法）	27	2.93	7.67	3.70	33.33	パス
K867	子宮頸部（腔部）切除術	21	0.95	2.00	0.00	38.24	パス
K9091	流産手術（妊娠11週まで）	16	0.50	0.00	0.00	31.56	パス

市内で唯一の分娩取扱医療機関のため帝王切開術（予定手術、緊急手術）、子宮頸管縫縮術、稽留流産手術が主な手術となっています。また子宮頸部上皮内腫瘍に対する子宮頸部切除術をしており短期間の入院で治療ができます。

■ 眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 0	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他）	407	0.03	0.38	0.74	74.28	パス
K2822	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	-	-	-	-	-	
K259	角膜移植術	-	-	-	-	-	

白内障に対して水晶体再建術の件数が圧倒的に多く、他医療機関の先生と共同して診察もしています。また角膜移植術も行っています。また集計対象外ですが地域包括ケア病棟を利用して翼状片手術（弁の移植を要するもの）、眼瞼内反症手術（皮膚切開法）も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6261	リンパ節摘出術（長径3cm未満）	-	-	-	-	-	
K318	鼓膜形成手術	-	-	-	-	-	
K331	鼻腔粘膜焼灼術	-	-	-	-	-	
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	-	-	-	-	-	
K340- 5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	-	-	-	-	-	

頸部リンパ節腫瘍に対してのリンパ節摘出術、化膿性穿孔性中耳炎に対しての鼓膜形成手術、鼻出血症に対しての鼻腔粘膜焼灼術が主な手術となっています。また扁桃周囲膿瘍切開術や副鼻腔炎に対して内視鏡下鼻・副鼻腔手術も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	44	0.23	1.16	2.27	52.95	パス
K8036 1	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	19	1.32	19.37	5.26	73.58	パス
K610- 3	内シャント設置術	-	-	-	-	-	
K8411	経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用）	-	-	-	-	-	
K783- 2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-	

尿管結石に対する体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、膀胱悪性腫瘍手術、維持透析を開始するための内シャント設置術が主な手術です。体外衝撃波腎・尿管結石破碎術は平均1泊2日の入院となっています。内シャント設置術後は、シャント狭窄や感染症等の合併症発生予防のため透析センター・循環器内科と連携して、当院の透析患者のみならず他の病院で透析されている方も含め診療しています。また前立腺肥大症に対する経皮的な前立腺手術、経尿道的尿管ステント留置術も行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	17	0.34
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	21	0.41
		異なる	-	-

播種性血管内凝固は、様々な重症の基礎疾患により、過剰な血液凝固反応活性化が生じ全身の血管内に血栓が出来、臓器不全、出血傾向となる病態です。基礎疾患には、悪性腫瘍、敗血症、熱傷、外傷などの重症疾患があります。

敗血症は、体のある部分で感染症を起こしている場所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす病態です。原因として肺炎、尿路感染症、腹膜炎、褥瘡感染、悪性腫瘍などがあります。

手術・術後合併症は、手術処置後に合併した疾患で、当院は透析を行うために必要なシャントが血栓などで閉塞し、使用できなくなり、その治療（経皮的シャント拡張術、血栓除去術）目的で入院する患者さんが多いです。当院では泌尿器科と循環器内科が協力して治療をしています。起こり得る合併症に関しては、事前に十分な説明を行い、発症が最小限になるよう努めています。

「同一性」とは、入院の契機である疾患と入院中に主として治療した疾患が同一か否かということです。

発生率は、播種性血管内凝固は0.16%、敗血症は0.42%、その他の真菌感染症は0.06%、手術・術後の合併症は0.45%でありどの疾患も発生することは皆無に近い状態です。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

更新履歴

2018.9 平成29年度 病院情報を公表しました。